広島県内経済情勢報告

～広島県の経済情勢について～

令和８年 11 月５日

財務省 中国財務局

【お問い合わせ先】
中国財務局経済調査課
電話 (082)221-9221

1. 総論

【総括判断】「県内経済は、緩やかに回復しつつある」

項　目	前回（8 年 7 月判断）	今回（8 年 10 月判断）	前回比較
総括判断	緩やかに回復しつつある	**緩やかに回復しつつある**	→

（注）8 年 10 月判断は、前回 8 年 7 月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、緩やかに回復しつつある。生産活動は、持ち直しつつある。雇用情勢は、緩やかに改善しつつある。

【各項目の判断】

項　目	前回（8 年 7 月判断）	今回（8 年 10 月判断）	前回比較
個人消費	緩やかに回復しつつある	**緩やかに回復しつつある**	→
生産活動	緩やかに持ち直しつつある	**持ち直しつつある**	↗
雇用情勢	緩やかに改善しつつある	**緩やかに改善しつつある**	→
設備投資	8 年度は前年度を上回る見込み	**8 年度は前年度を上回る見込み**	→
企業収益	8 年度は増益見込み	**8 年度は増益見込み**	→
企業の景況感	「下降」超幅が拡大している	**「下降」超幅が縮小している**	→
住宅建設	前年を下回る	**前年を上回る**	↗
輸出	前年を上回る	**前年を上回る**	→

【先行き】

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかに回復していくことが期待されるものの、中東情勢や金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「緩やかに回復しつつある」

業態別にみると、ホームセンター販売は、前年に比べて雨の日が多く、梅雨明けも遅れた影響から客数が減少したことなどにより前年を下回っている。コンビニエンスストア販売は、梅雨明け前の気温が前年を下回って推移した影響からアイスクリームなどが不調で、前年を下回っている。百貨店販売は、高額品、冷感寝具、催事の好調などから、前年を上回っている。スーパー販売は、簡便志向が強まる中、冷凍食品などが好調で、前年を上回っている。乗用車販売（新車登録・届出台数）は、新型車効果などから前年を上回っている。このように、個人消費は、緩やかに回復しつつある。

（主なヒアリング結果）

- ➢ 前年に比べて雨の日が多く、梅雨明けも遅れた影響から客数が減少した。また、中東情勢を背景としたまとめ買いの反動から、ラップやごみ袋など一部の日用品が6月以降は低調に推移している。（ホームセンター）
- ➢ 販売促進施策により揚げ物が好調であった一方、梅雨明け前の気温が前年を下回って推移した影響から、アイスクリームや冷やし麺などが低調だった。（コンビニ）
- ➢ 価格上昇が顕著な生鮮食品が低調となっている一方で、ラグジュアリーブランドを中心とする高額品、暑さ対策商品の冷感寝具、物産展などの催事は好調だった。（百貨店）
- ➢ 共働き世帯の増加を背景に簡便志向が強まる中、冷凍食品、味付け肉・魚などが好調である。また、価格優位性のあるPB商品、茶葉などの嗜好品も好調である。（スーパー）
- ➢ 自動車販売は、軽乗用車が新型車効果の一巡などにより前年を下回る一方、普通乗用車等は新型車効果などから前年を上回っている。（自動車販売）
- ➢ 国内旅行者による旅行需要は、節約志向や自然災害の影響が一部にみられるものの堅調に推移している。加えて、欧米を中心とするインバウンド需要も堅調であり、観光需要全体は引き続き底堅く推移している。（宿泊業）

■ 生産活動 「持ち直しつつある」

電気機械は、表示デバイス向けの半導体需要が堅調なことなどから、増加している。プラスチック製品は、車載向けの需要が堅調なことなどから、増加している。鉄鋼は、造船向けの需要が堅調なことなどから、増加している。輸送機械は、海外向けの出荷を調整したことなどから、減少している。一般機械は、海外規制に適合した新製品への切り替えに向けた在庫調整などから、減少している。このように、生産活動は、持ち直しつつある。

- ➢ 電子ペーパーなどの表示デバイス向け半導体需要が堅調に推移していることなどから、フル操業が続いている。（電気機械）
- ➢ 車載向けディスプレイについて、リアモニターなど自動車に搭載されるディスプレイが増加していることなどから、需要が堅調に推移している。（プラスチック製品）
- ➢ 人手不足による建築工事の停滞などから建材向けの鋼材は低調であるものの、船舶の建造需要を背景とした造船向けの需要は堅調に推移している。（鉄鋼）
- ➢ 新型車の投入効果により、国内外の需要は引き続き堅調に推移しているが、海外の一部市場向けの新型車販売に備え、足下で海外向け出荷を調整した。（輸送機械）
- ➢ 海外規制に適合した新製品への切り替えに向け、従来製品の在庫消化を進めたことなどから、生産量は減少している。（一般機械）

■ 雇用情勢 「緩やかに改善しつつある」

有効求人倍率は、緩やかに低下しているほか、新規求人数は、前年を下回っている。一方、法人企業景気予測調査（8年7-9月期）の従業員数判断BSIでみると、製造業・非製造業いずれにおいても前期に比べて「不足気味」超が続いており、人手不足を背景に企業の採用意欲が高い状況にある。このように、雇用情勢は、緩やかに改善しつつある。

- ➢ 人手不足を背景に、費用をかけてでも人材獲得に取り組む企業もみられ、民間求人サービスの求人数は増加している。（人材・職業紹介）
- ➢ 採用戦略を見直し、採用対象の拡大やweb面接の導入など、従来と異なる取組を進めた結果、比較的早期に採用計画人数を確保することができた。（輸送機械）
- ➢ 外国人材の育成を進めるほか、スポットワークも継続的に活用しており、工場運営を支える人材確保の手段として定着している。（小売業）

■ 設備投資　「8 年度は前年度を上回る見込み」（全産業）「法人企業景気予測調査」8 年 7-9 月期

○　製造業では、「鉄鋼」などで減少するものの、「自動車」、「生産用機械」などで増加することから、全体では前年度を上回る見込みとなっている。

○　非製造業では、「運輸・郵便」などで減少するものの、「電気・ガス・水道」、「金融・保険」などで増加することから、全体では前年度を上回る見込みとなっている。

> ➢ 電気自動車向け部品の工場の建設を予定している。（自動車）
> ➢ 発電関連の大型設備投資を予定している。（電気・ガス・水道）

■ 企業収益　「8 年度は増益見込み」（全産業）「法人企業景気予測調査」8 年 7-9 月期

○　製造業では、「非鉄金属」などで増益となるものの、「生産用機械」、「はん用機械」などで減益となることから、全体では減益見込みとなっている。

○　非製造業（除く「電気・ガス・水道」、「金融・保険」）では、「情報通信」などで減益となるものの、「学術研究・専門・技術サービス」、「卸売」などで増益となることから、全体では増益見込みとなっている。

■ 企業の景況感　「『下降』超幅が縮小している」（全産業）「法人企業景気予測調査」8 年 7-9 月期

○　企業の景況判断 BSI は、「下降」超幅が縮小している。なお、先行きは「上昇」超に転じる見通しとなっている。

■ 住宅建設　「前年を上回る」

○　新設住宅着工戸数でみると、貸家、給与住宅が減少しているものの、分譲住宅、持家が増加していることから、前年を上回っている。

■ 輸出　「前年を上回る」

○　輸出（円ベース）は、自動車、電気機器などが増加していることから、前年を上回っている。地域別では、アジア、西欧などで増加している。

　なお、輸入（円ベース）は、化学製品、石炭などが増加していることから、前年を上回っている。地域別ではアジア、アフリカなどで増加している。

広島県内経済情勢報告

（令和８年11月５日）

資料編

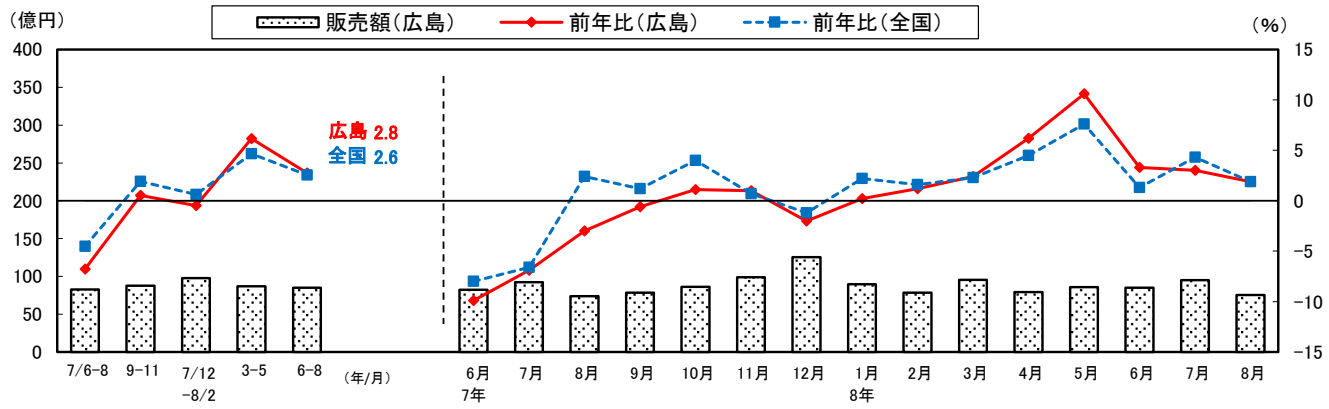
目次　　ページ

1. 個人消費 ---------- 1
2. 生産活動 ---------- 3
3. 雇用情勢 ---------- 4
4. 設備投資 ---------- 5
5. 企業収益 ---------- 5
6. 企業の景況感 ---------- 6
7. 住宅建設 ---------- 6
8. 輸出 ---------- 7

1. 個 人 消 費　　緩やかに回復しつつある

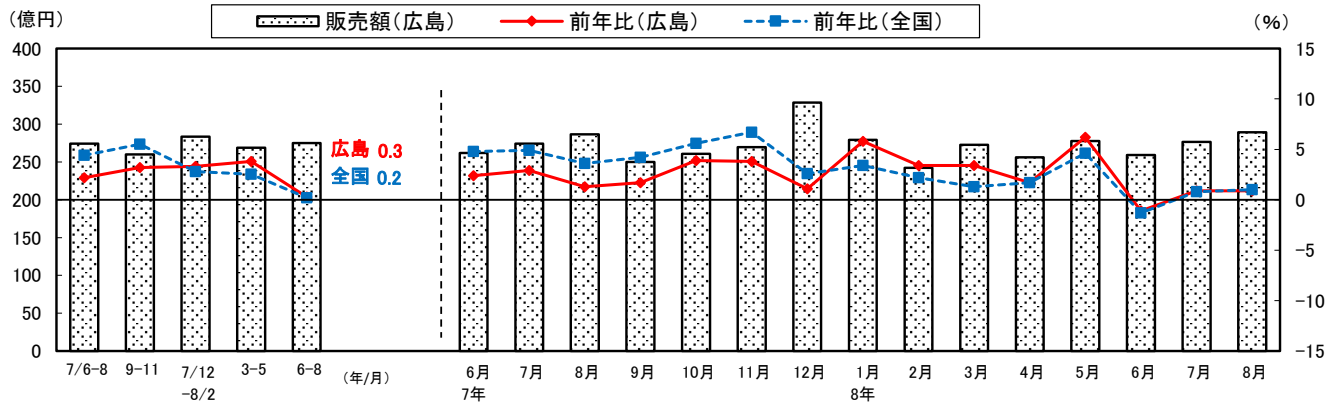
(1) 百貨店販売額(全店舗)

(注)(1)～(6)の各グラフの3か月毎の販売額は、1月あたりの平均を表示



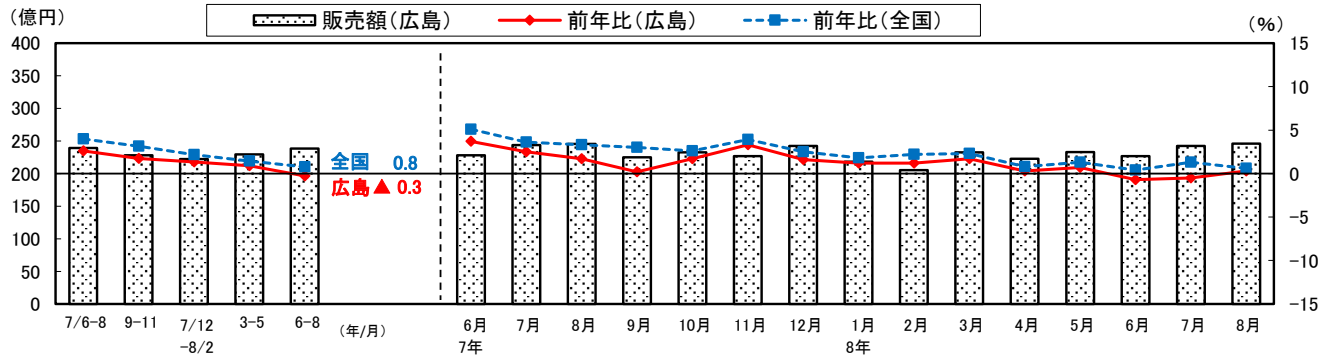
(資料出所:経済産業省、中国経済産業局)

(2) スーパー販売額(全店舗)



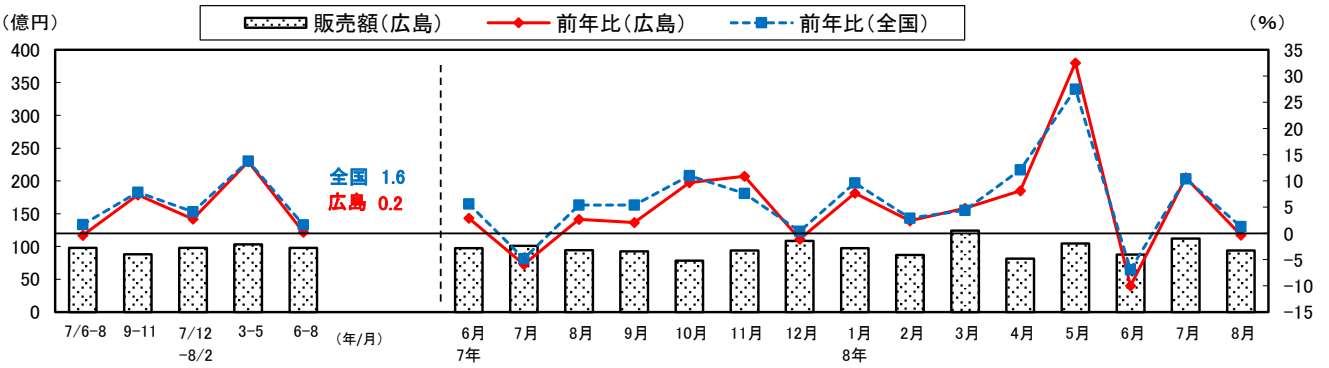
(資料出所:経済産業省、中国経済産業局)

(3) コンビニエンスストア販売額(全店舗)



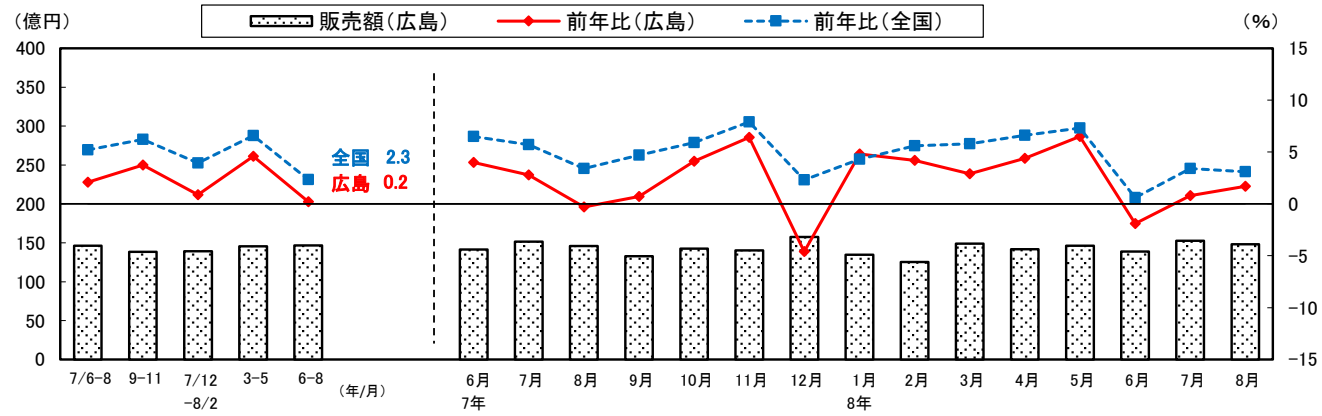
(資料出所:経済産業省、中国経済産業局)

(4) 家電大型専門店販売額(全店舗)



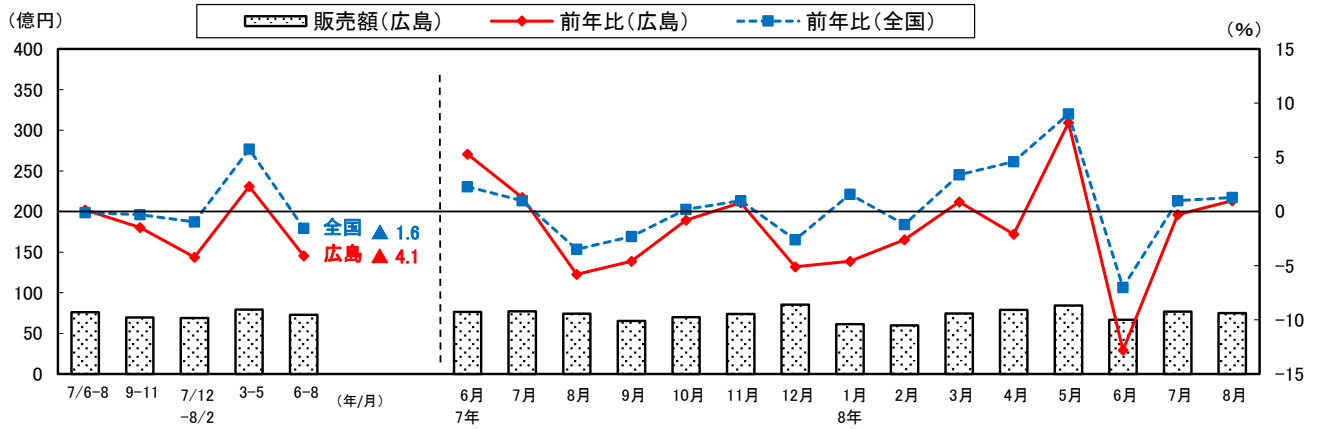
(資料出所:経済産業省、中国経済産業局)

(5) ドラッグストア販売額（全店舗）



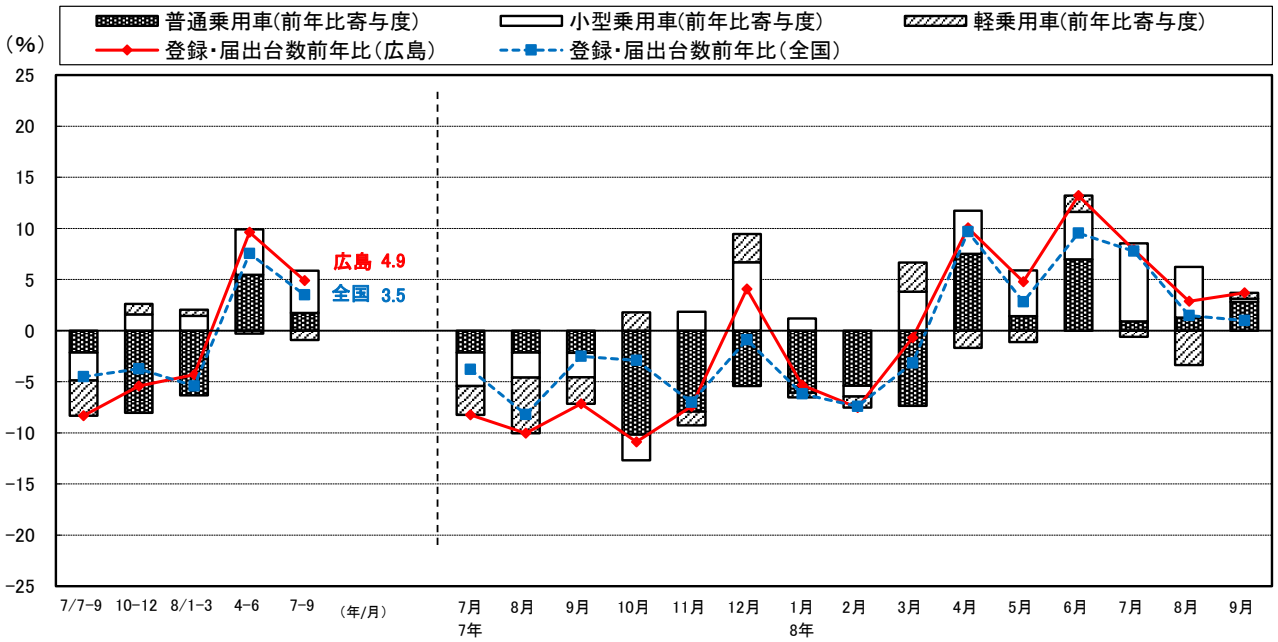
（資料出所：経済産業省、中国経済産業局）

(6) ホームセンター販売額（全店舗）



（資料出所：経済産業省、中国経済産業局）

(7) 乗用車販売（新車登録・届出台数）

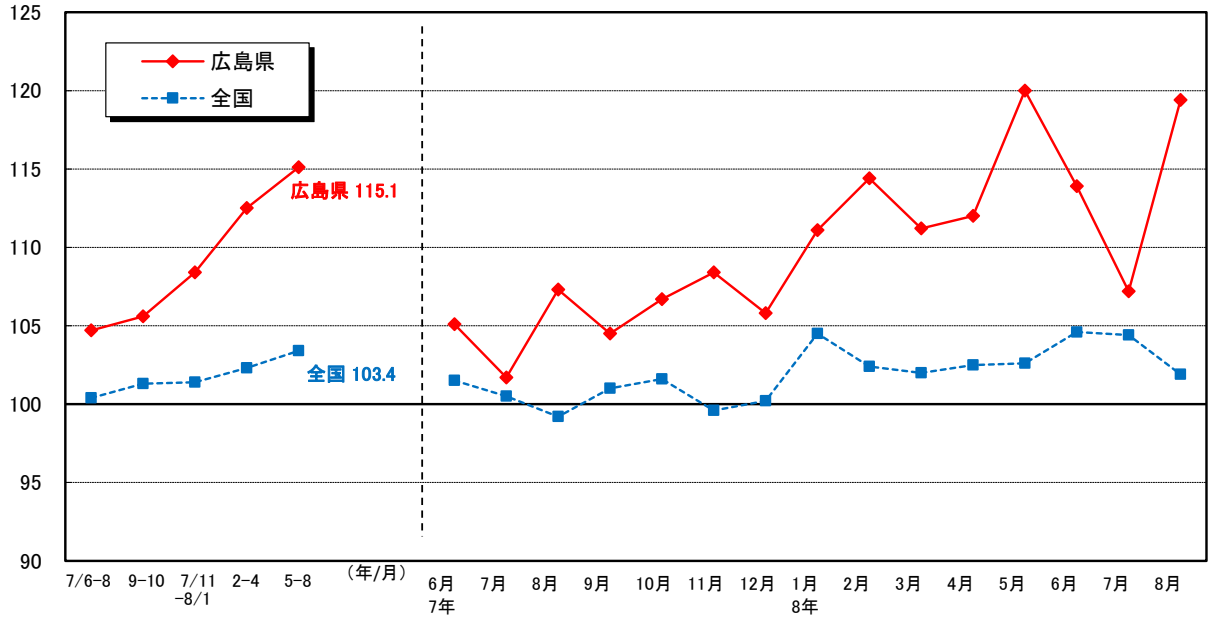


（資料出所：中国運輸局、日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車販売協会）

2. 生 産 活 動　持ち直しつつある

(1) 鉱工業生産指数(季節調整値)

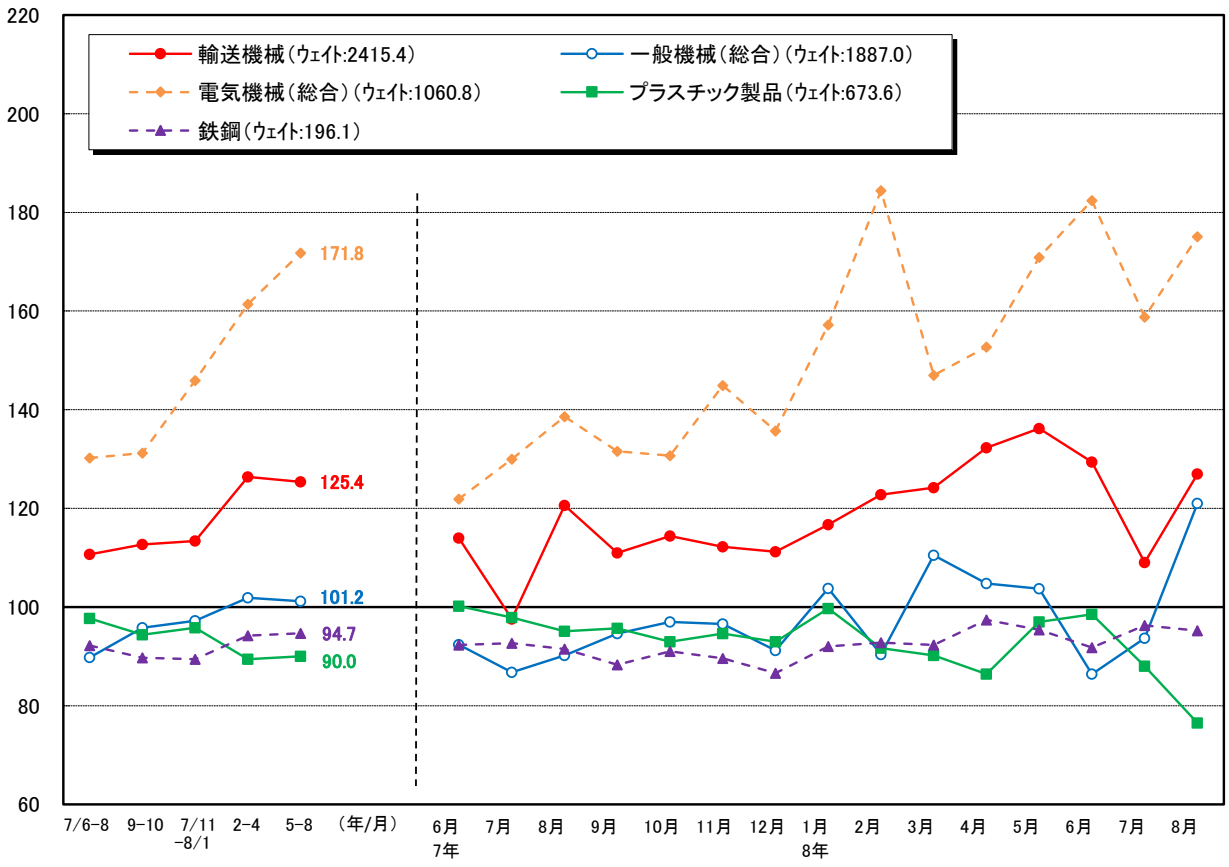
（指数）（令和2年＝100）



（資料出所：経済産業省、広島県）

(2) 県内主要業種別生産指数(季節調整値)

（指数）（令和2年＝100）

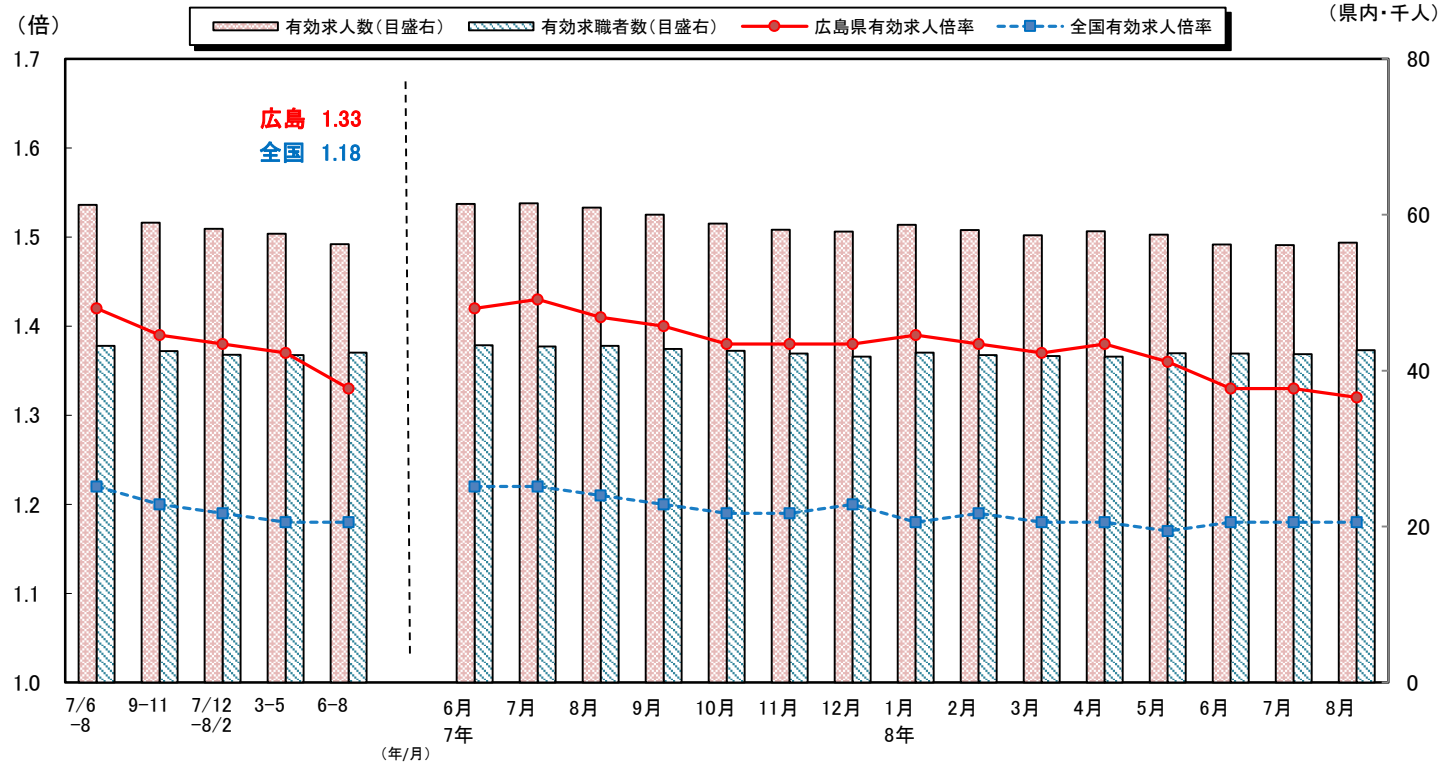


（資料出所：広島県）

3. 雇 用 情 勢　緩やかに改善しつつある

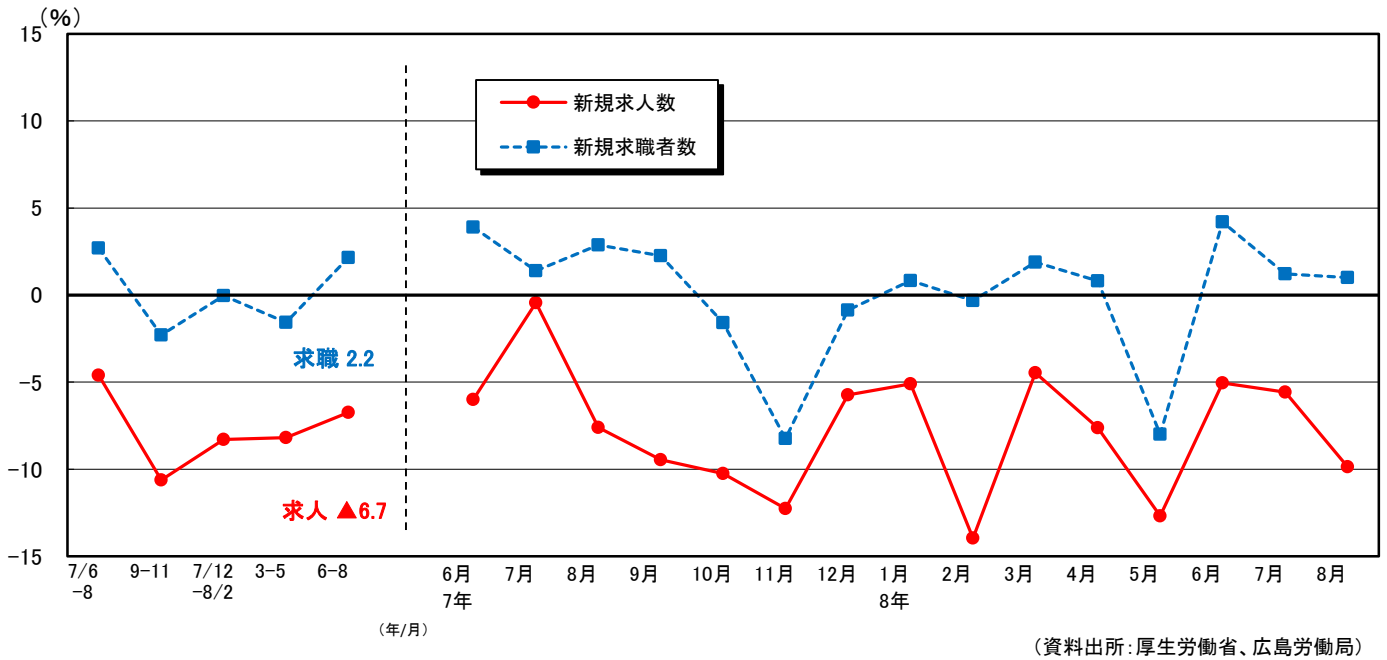
(1) 有効求人倍率、有効求人数・求職者数(学卒を除く、季節調整値)

（注）(1)のグラフの3か月毎の有効求人数と有効求職者数は、1月あたりの平均。



（資料出所：厚生労働省、広島労働局）

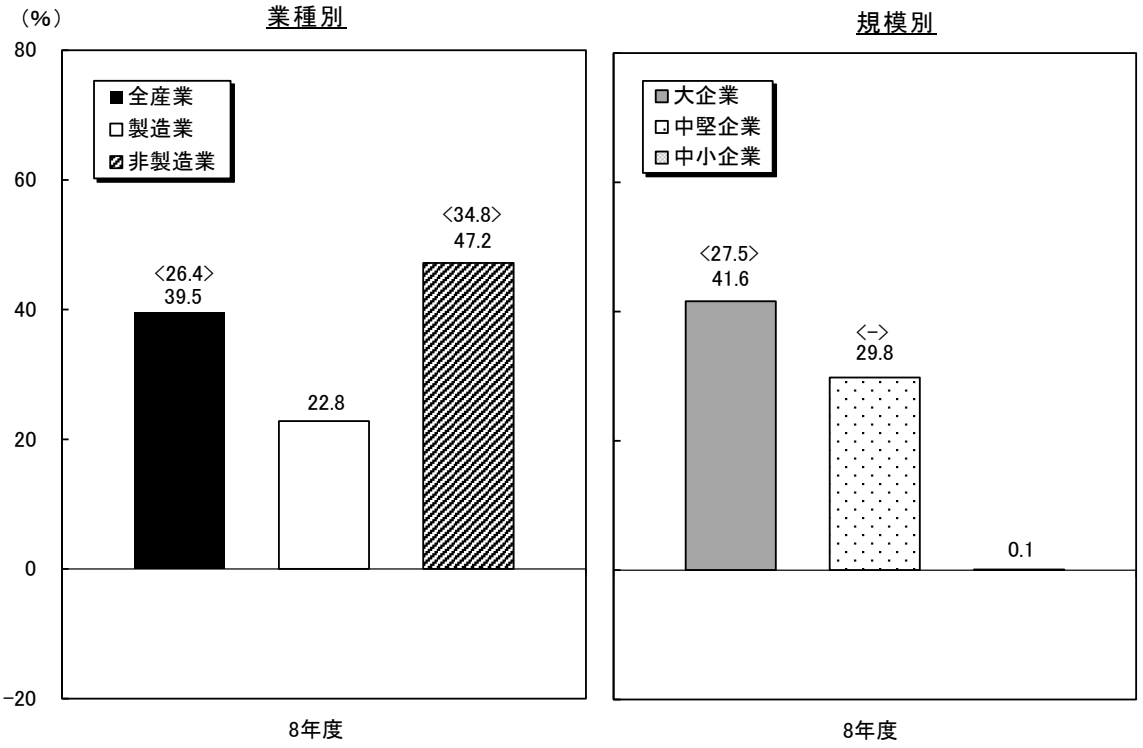
(2) 県内新規求人数・求職者数（学卒を除く、原数値）の前年比



（資料出所：厚生労働省、広島労働局）

4. 設 備 投 資　8年度は前年度を上回る見込み

設備投資額(前年度比)

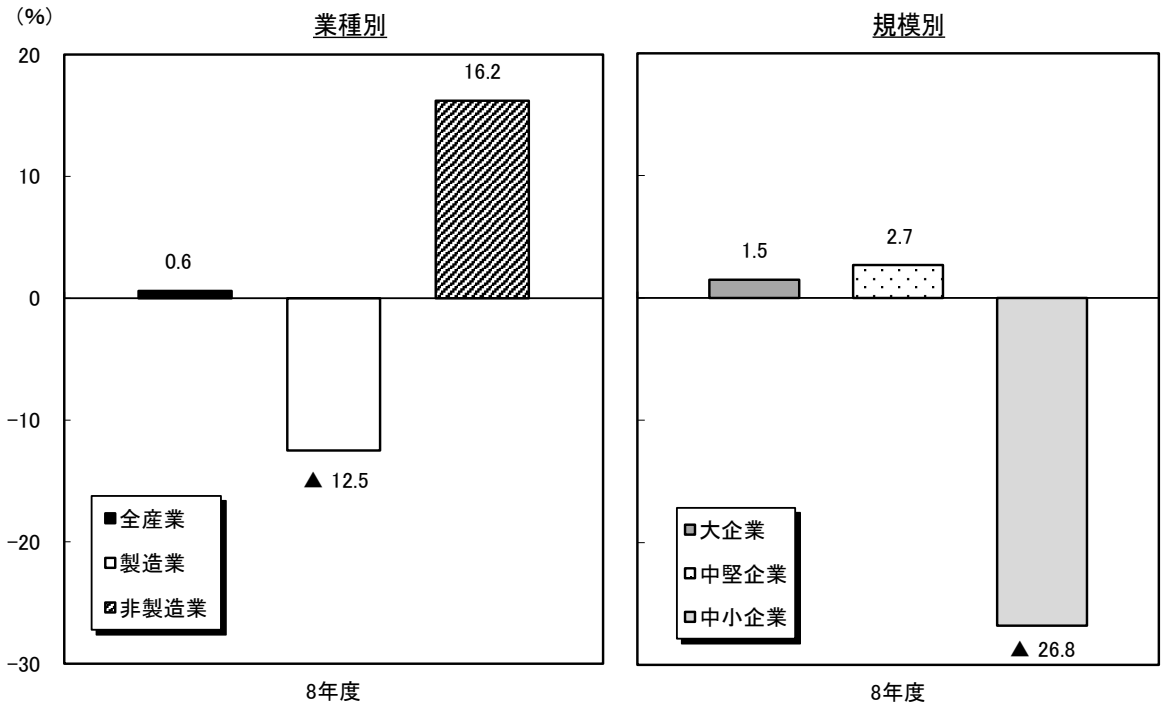


〈 〉書きは電気・ガス・水道業を除く前年度比

(資料出所:中国財務局)

5. 企 業 収 益　8年度は増益見込み

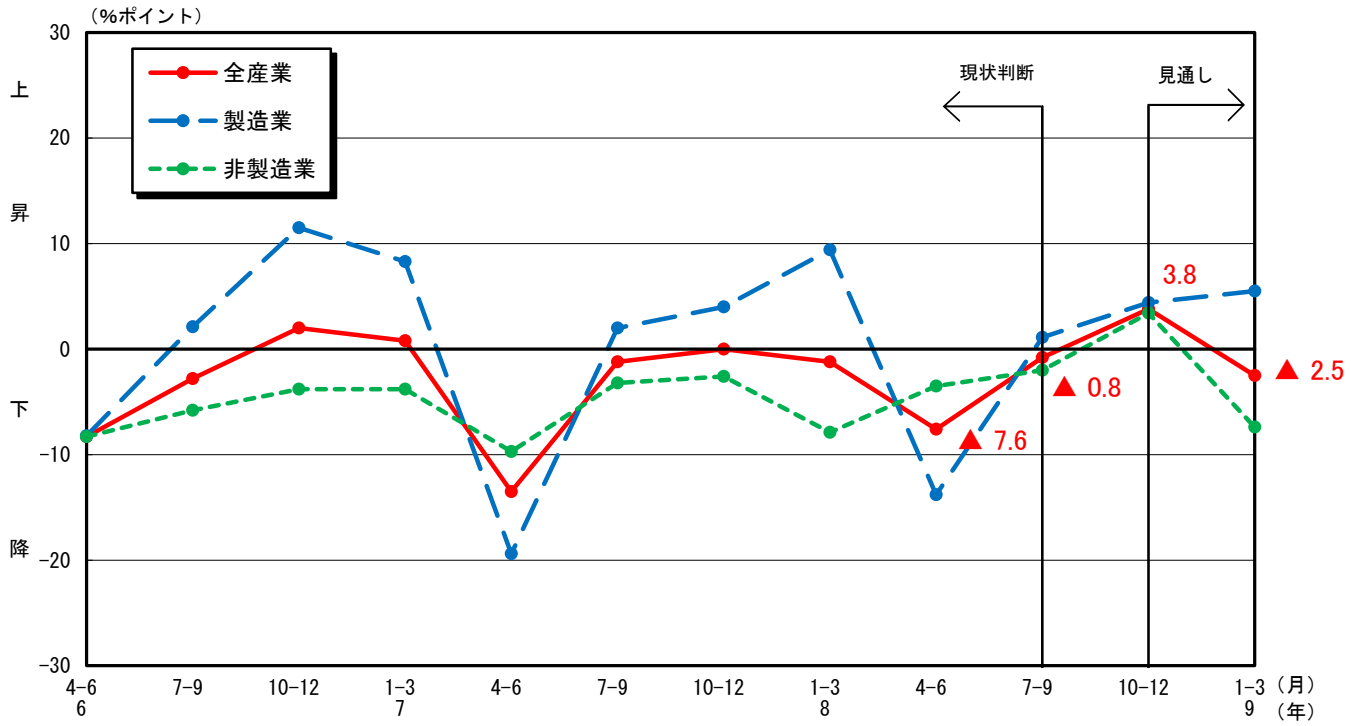
経常利益(電気・ガス・水道業、金融業、保険業を除く:前年度比)



(資料出所:中国財務局)

6. 企業の景況感　「下降」超幅が縮小している

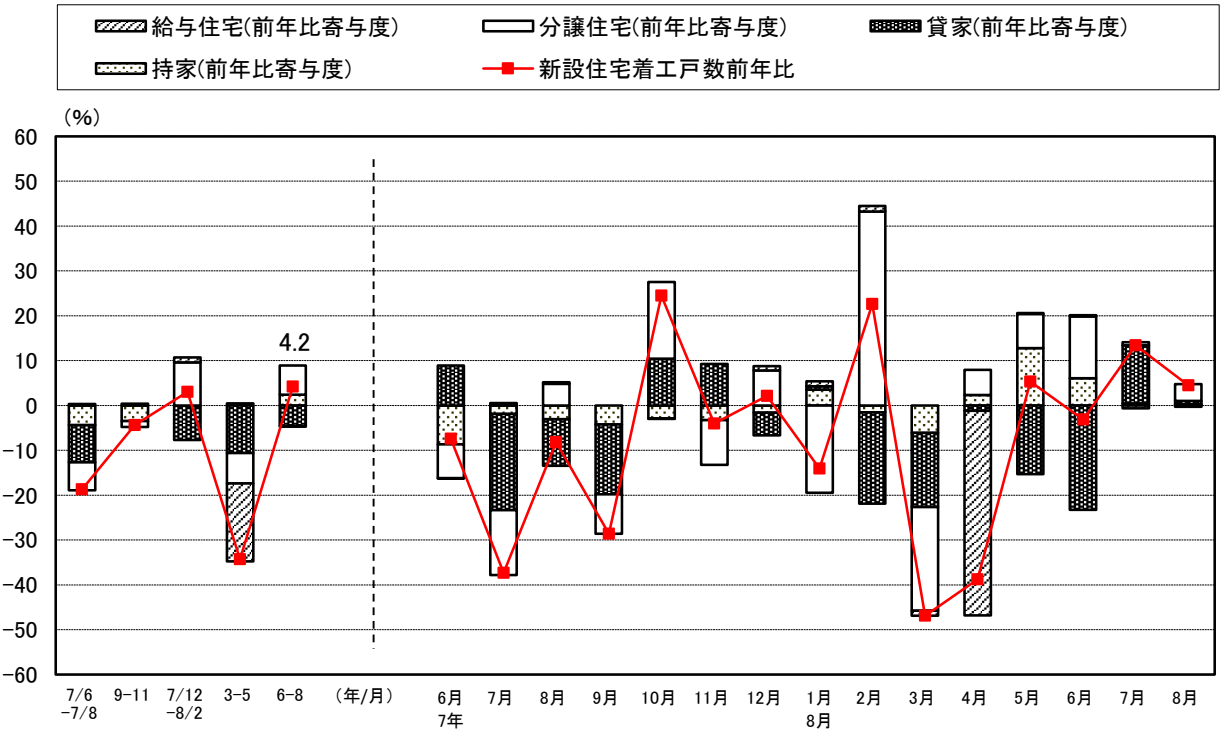
景況判断BSIの推移（原数値）（BSI：前期比判断「上昇」−「下降」社数構成比）



（資料出所：中国財務局）

7. 住 宅 建 設　前年を上回る

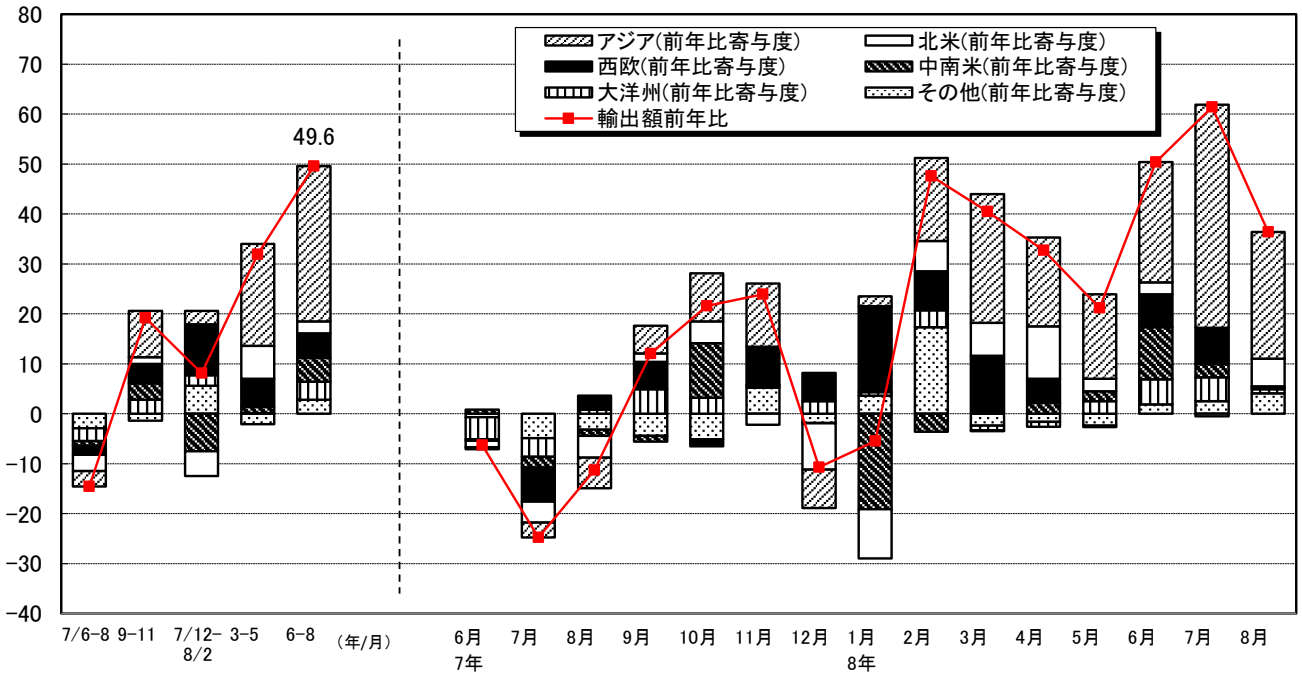
新設住宅着工戸数（前年比）



（資料出所：国土交通省）

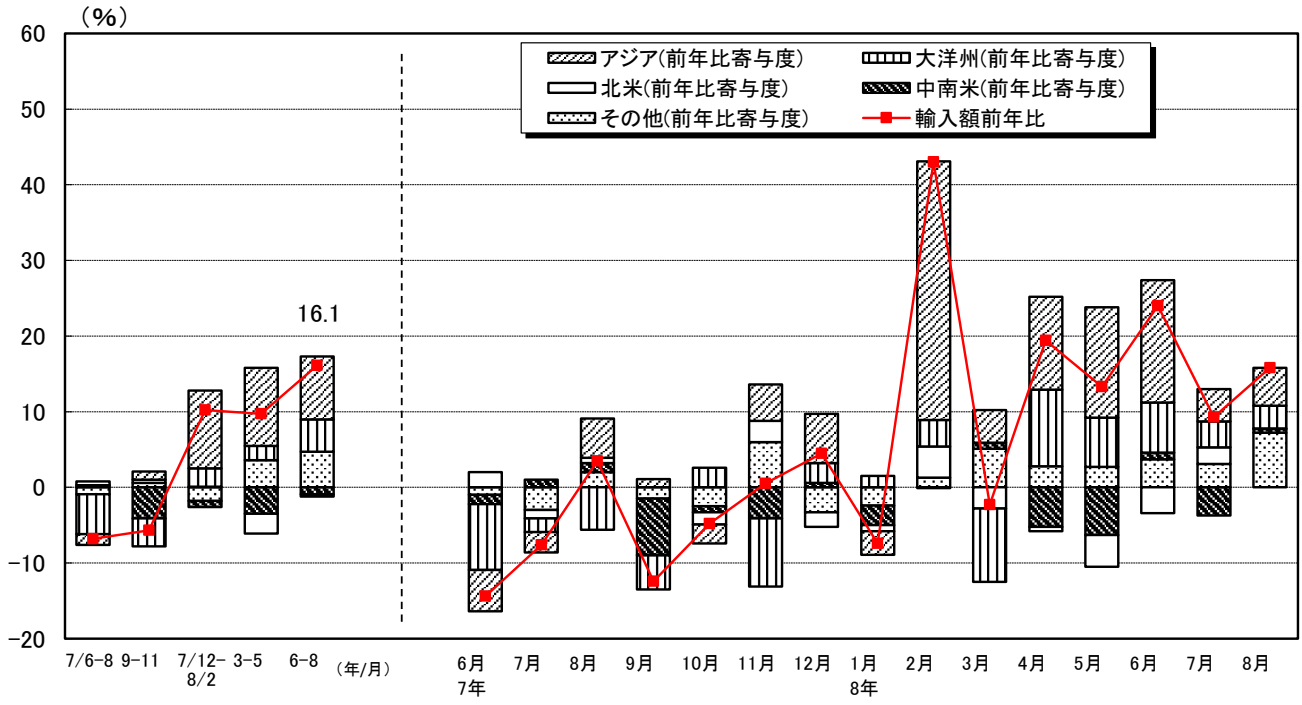
8. 輸 出　　前年を上回る

輸出(円ベース)



（資料出所：神戸税関）

＜参考＞
輸入(円ベース)



（資料出所：神戸税関）